



地域おこし協力隊 活動状況報告



浦幌町に来てから初めての冬が終わろうとしています。とはいえず、これを書いてある日の外は、重たい雪が1日中降り積もっており、とても冬が終わわりそうな気配はしません。皆さんがこの文章を目にする頃には、もう雪のない景色が広がっているでしょうか。生まれた季節がそうだからか、好きな季節が「春」な私は、雪解けの後のポカポカした陽気を待ち遠しく思っています。

さて、1月25、26日には「しゃっこいフェス2020」という、冬のイベントがありました。当日会場に来ていただいた方、寄付をいただいた方、ご協力・お力添えいただいた方、改めまして、この場をお借りしてお礼申し上げます。今回のしゃっこいフェスいかがでしたでしょうか？町内でお会いした時に、感想など聞かせていただけますと幸いです。

事務局として関わらせていただいたこのイベント。準備期間から強く記憶に残っているのは、近年まれにみる雪の少なさです。1月当時はアスファルトが見えるような降雪状況で、イベント実施の見込みが立たず、休日も気持ちが悪くならず胃がキリキリしていたことが思い出されます。そうした状況下でも子どもを思い、実施のために快く会場を貸していただいた



大盛況だった宝探し

学校の皆さん。実施が困難なのでとは不安がる私に「雪が少ないうえに50キロ圏内からなら雪をとってくるよ」と即答してくださった地域の皆さん。そして、しゃっこいフェス2020テーマの「やればできるさやってみよう」の精神で創意工夫を凝らし実施を可能とした実行委員会のメンバーや当日ボランティアの皆さんなど、本当にたくさんの方のご協力、お力添えがあつて、なんとか開催することができました。浦幌の方がよく言葉にする「子どものために」という、脈々と受け継がれてきた想いを私



実行委員・当日ボランティア・出店者の皆さん

自身が何よりも実感する機会となりました。来年度、しゃっこいフェスの運営体制など変わることもあるかと思いますが、実施の際には、子どもたちのためにまだまだ皆さんのご協力、お力添えをいただけますと幸いです。初めての冬が終わり、4月からは地域おこし協力隊として2年目を迎えます。浦幌の子ども達のために、私自身もたくさん学びながら日々過ごしていきたいと思えます。来年度もよろしく願いいたします。



地域おこし協力隊 古賀 詠風 (こが えいふう)

うらほろスタイル・学校と地域連携担当

まちを歩いていると子ども達から「えっちゃん！」と声をかけられることが増えました。1日のエネルギーをもらえる瞬間です。

■地域おこし協力隊の活動を紹介する隊員紹介 Facebook ページ

☆北海道浦幌町地域おこし協力隊 ⇒ <https://www.facebook.com/urahoro.chiikiokoshi>